# プレ公示案件への質問回答

【競争参加者様へ:留意点】
プレ公示段階での質問回答での回答内容は、企画競争説明書／入札説明書の段階で変更の可能性があります。

※掲載方法を公示予定日が早い順に案件ごとにまとめて掲載いたします。新たに掲載いたしました質問回答についてはセルを水色にしております。

2026年11月18日

| 公示予定日 | 調達管理番号 | 案件名 | 担当部・課 | 質問内容 | 回答 | 回答日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2026年11月18日 | 26a00832000000 | コート ジボワール国持続的水産資源共同管理に向けた制度整備と実践 | 経済開発部農業・農村開発第一グループ | 「本業務には個別専門家2名を配置予定」とございますが、この案件の専門家2名を想定しているのか、それともこの案件の専門家とは別に2名の個別専門家が配置される予定しているのか、どちらでしょうか？ | この案件は個別案件（専門家）ですが、水産資源管理と組織強化の双方の分野が求められるとの考えから、専門家2名の配置を想定しております。また、当該分野における人材育成の観点も踏まえ、経験豊富な専門家と若手専門家を組み合わせた体制を想定しています。 | 2026年10月8日 |
| 2026年11月18日 | 26a00890000000 | 全世界（広域）グローバルヘルス課題対応力強化のための情報収集・分析業務 | 人間開発部保健第一グループ | 「上記に関する詳細分析（数テーマを想定、業務の中で決定）」について、想定されるテーマ数と1テーマ当たりの分析の規模をご教示ください。 | 本作業は、選定テーマについての背景、現状、論点、JICAにとっての課題・示唆などを分析していただきます。5テーマ程度を選定し、1テーマ10ページ程度（和文）を想定していますが、最終的な内容は指示書をご確認ください。 | 2026年11月11日 |
| 2026年11月18日 | 26a00890000000 | 全世界（広域）グローバルヘルス課題対応力強化のための情報収集・分析業務 | 人間開発部保健第一グループ | 想定されている成果品の種類、提出頻度・時期、使用言語および想定分量をご教示ください。 | プラネタリーヘルス国際会議向け広報資料（1回・6月の国際会議に間に合うタイミング・和文）、業務完了報告書（1回・和文）を想定しています。分量は、広報資料はパネル展示10枚程度を想定していますが、広報内容及び材料次第で形態や分量が変わってきますのでご相談させてください。 | 2026年11月11日 |
| 2026年11月18日 | 26a00890000000 | 全世界（広域）グローバルヘルス課題対応力強化のための情報収集・分析業務 | 人間開発部保健第一グループ | 「プラネタリーヘルス国際会議（東京）」は、2027年6月7日～11日に東京大学で開催予定のPlanetary Health Annual Meeting 2027（PHAM 2027）を指すとの理解でよろしいでしょうか。また、【目的】にある「国際会議での広報対応」について、PHAM以外の国際会議への対応も想定されていますでしょうか。 | ご理解のとおり、プラネタリーヘルス国際会議はPHAM2027を指しております。PHAM以外の国際会議用に別途広報資料を作成することは想定していません。 | 2026年11月11日 |
| 2026年11月18日 | 26a00890000000 | 全世界（広域）グローバルヘルス課題対応力強化のための情報収集・分析業務 | 人間開発部保健第一グループ | 「JICA関係者（内部人材を除く）の参加費支払」における「参加費」は、応札時点で受注者が見積を立てることが想定されていますでしょうか。そのような想定の場合、支払・精算方法（受注者による立替払の有無、証憑の扱い等）についてもご教示ください。 | 「参加費」は定額計上としますので、プロポーザル提出時の見積には含めないでください。本契約は一般競争入札（総合評価落札方式）ランプサム方式です。定額計上分は案件実施期間中に3者打合簿を取り交わし、ランプサム方式での精算を想定しております。前払い可能です。 | 2026年11月11日 |
| 2026年11月18日 | 26a00890000000 | 全世界（広域）グローバルヘルス課題対応力強化のための情報収集・分析業務 | 人間開発部保健第一グループ | 本業務で海外現地業務を想定されているかご教示ください。 | 本業務は国内業務のみで海外渡航はございません。 | 2026年11月11日 |
| 2026年11月18日 | 26a00890000000 | 全世界（広域）グローバルヘルス課題対応力強化のための情報収集・分析業務 | 人間開発部保健第一グループ | 業務担当分野は「グローバルヘルス分野の調査分析」の1分野となっていますが、約4人月を1名で担当する想定でしょうか。複数名での分担や、広報資料作成・会議対応等のための評価対象外の業務従事者（補助要員）の配置は可能でしょうか。あわせて、履行期間中の人月の配分（PHAM前に業務量が集中する等）の想定があればご教示ください。 | 複数名で分担することを想定しており、評価対象外の業務従事者の配置は可能です。<br>PHAMは広報資料作成に加えて、プレカンファレンスや本会合での企画セッションの準備・実施支援を依頼することになりますので、PHAM直前は準備で多少忙しくなる可能性があります。 | 2026年11月11日 |
| 2026年11月18日 | 26a00902000000 | キルギス国中央アジアカスピ海ルート連結性強化のための貨物検査機材整備計画協力準備調査（QCBS-ランプサム型） | 無償資金協力部業務第六課 | 【検査効率化が求められる貨物の流れ・品目】本事業の背景に「交通量の急増」「効率的な貨物検査」が挙げられていますが、検査の効率化が特に求められるのは、どこからどこへ流れる、どのような品目の貨物でしょうか。<br>ドストウク検問所では検査が1時間以内に終わる車両の割合が大きく改善したとの報道もあります。<br><br>つきましては、以下をご教示ください。<br>（１）本事業の主目的は「通関の迅速化」と「密輸・違法貨物の摘発能力の向上」のいずれか<br>（２）重点的に検査すべき品目・高リスク貨物の傾向（通過貨物・再輸出貨物の管理を含む）に関する貴機構およびキルギス税関の見解<br>※機材の方式・処理能力の設定や需要予測の前提に直接関わるため、確認させていただきたく存じます。 | 現時点では、特定品目を対象とした案件ではなく、ドストウク検問所（ウズベキスタン国境）及びクズル・ベル検問所（タジキスタン国境）を通過する国際物流全体を対象としています。特に、カスピ海ルート（南部ルート）に接続する貨物交通の増加への対応が重要な課題と認識しています。<br><br>（１）本事業の主目的は、「通関の迅速化」と「密輸・違法貨物の摘発能力向上」の双方です。固定式大型X線検査機材の導入により、検査時間の短縮と適正な検査体制の確保を両立することを想定しています。<br><br>（２）重点的に検査すべき品目・高リスク貨物については、準備調査においてキルギス税関のリスク管理手法に関する見解や摘発実績を確認することを想定しています。現時点では、麻薬・武器等の禁制品、不正申告貨物等への対応強化を想定しており、通過貨物・再輸出貨物を含むリスク貨物管理の実態についても調査する予定です。 | 2026年11月10日 |
| 2026年11月18日 | 26a00902000000 | キルギス国中央アジアカスピ海ルート連結性強化のための貨物検査機材整備計画協力準備調査（QCBS-ランプサム型） | 無償資金協力部業務第六課 | 【運用・維持管理（O&M）と人材育成の検討範囲】過去の類似案件では、機材導入後の画像解析人材の不足や維持管理予算の確保が課題となる例が見られます。本調査では、税関の運用状況やO&M体制の分析を、ソフトコンポーネント（技術指導）の設計まで含めて行うことを想定されていますでしょうか。放射線安全に関する許認可手続きへの対応も含め、想定される検討の深さをご教示ください。 | 本調査では、機材整備だけでなく、税関の運用・維持管理（O&M）体制についても調査対象とする予定です。具体的には、運営予算の確保、人材育成・配置、維持管理体制、スペアパーツ調達、アフターサービス体制等を確認し、持続的な運用の観点から必要な対応を検討します。<br><br>また、必要に応じてソフトコンポーネントの導入を検討しており、機材運用・保守、検査手順等に関する技術支援の内容を調査の中で具体化する予定です。<br><br>放射線安全に関する許認可手続きは、先方実施機関によって許認可手続きが実施されることを前提としつつ、具体的にどのような手続きが必要かを本調査の確認対象とします。 | 2026年11月10日 |
| 2026年11月18日 | 26a00902000000 | キルギス国中央アジアカスピ海ルート連結性強化のための貨物検査機材整備計画協力準備調査（QCBS-ランプサム型） | 無償資金協力部業務第六課 | 【両検問所の条件と相手国側との整合】ドストウク検問所とクズル・ベル検問所では、交通量、用地条件、アクセス、治安状況が大きく異なると認識しております。以下について貴機構のお考えをご教示ください。<br>（１）両サイトの優先順位や、整備内容に差をつけるか否か<br>（２）ウズベキスタン側・タジキスタン側の国境施設整備計画との整合（共同検査等）を、どこまで調査範囲に含めるべきか | （１）現時点では、ドストウク検問所及びクズル・ベル検問所の双方を対象とする方針です。一方で、交通量、貨物量、サイト条件、車両動線、電力条件等を準備調査で確認し、それぞれに適した機材仕様や施設レイアウトを検討する予定です。結果として、付帯施設や配置計画等に差異が生じる可能性があります。<br><br>（２）ウズベキスタン側・タジキスタン側施設との整合については、文献調査等により処理能力、通関フロー、物流動向等を把握し、本事業の計画策定に反映する予定です。他方、共同検査制度そのものの制度設計を本事業で行うことは現時点では想定しておらず、国境両側の施設・運用との整合性確認を主な対象と考えています。 | 2026年11月10日 |
| 2026年11月18日 | 26a00902000000 | キルギス国中央アジアカスピ海ルート連結性強化のための貨物検査機材整備計画協力準備調査（QCBS-ランプサム型） | 無償資金協力部業務第六課 | 本案件において、業務管理グループ（若手加点）の適用を想定されておりますでしょうか。 | 業務管理グループ（若手加点）の適用を想定しています。 | 2026年11月6日 |

| 公示予定日 | 調達管理番号 | 案件名 | 担当部・課 | 質問内容 | 回答 | 回答日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2026年11月18日 | 26a00904000000 | ベナン国コミュニティ 協働型学習の質向上支援プロジェクト | 人間開発部基礎教育グループ | 【背景】には、個別専門家「学校運営改善アドバイザー」支援のもと、（中略）試行活動を実施した、とありますが、報告書等の情報共有をいただけますか。 | 公示の配布資料とする予定です。 | 2026年10月26日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 既存組積造建築物の耐震診断・耐震補強技術の開発とありますが、ネパールには、すでに『Seismic Retrofitting Guidelines of Buildings in Nepal: Masonry Structures』が組積造建築物を対象とした専門書として公的なガイドラインとして策定されていると思います。耐震診断・耐震補強技術の開発とは、この指針を利用せず、新しい手法を開発する、との意味でしょうか。または、このガイドラインを利用すべきでしょうか。 | 本案件では既存ガイドラインを活用・レビューしたうえで、ネパール固有の材料・構法に対する実験的検証を行い、必要な改訂・定量化・高度化を行うことを想定しています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | ノンエンジニアド建物の既存組積造の耐震性評価については、既存のミニマムリクワイアメントの項目を点数化して、●点以上は、耐震性なし（補強対象）など、手計算レベルで評価する事は可能でしょうか（詳細が不明でモデル化が困難な場合、概略的に評価する手法を開発する）。 | そのように考えられます。既存のスクリーニング方法に加えて、本案件では地域ごとの石積造・モルタル造の特性把握や実験結果を踏まえ、補強要否判定に活用できる簡易評価法を整備する余地があると考えています。ただし、簡易評価法は構造実験・構造計算に基づく定量的耐震性評価に基づいている必要があるとも考えています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 既存のRC造、S造建物も、耐震診断・耐震補強の対象でしょうか。 | 成果2で行う耐震診断・耐震補強の対象は組積造建築物を想定しています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | カトマンズ盆地以外の地域も対象でしょうか。先行案件では7自治体が対象とされていたと認識しています。本件におけるパイロット自治体の想定数、および選定方針・選定基準が現時点で決まっていればご教示ください。 | カトマンズ盆地以外も対象に含めます。詳細は公示をご確認ください。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 先行案件では、コンクリートの品質に問題があると記載があります。コンクリートの製造は、工場ではなく、現地での手練りが一般的との理解で宜しいでしょうか。 | 品質保証体制の不足、材料品質検査の限定性が課題と認識していますが、コンクリートの製造工程について現時点で詳細把握できておりません。ただ、現地の工事現場でコンクリートミキサーは見かけましたので、手練りのみということでもないと思われます。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 新築建物（RC造、S造、組積造）については、既に確立しているe-BPSによる手続きやNBC105基準等に準拠した設計を継続、普及させる、との理解で宜しいでしょうか。 | ご理解のとおりです。本案件の成果1・3はBCM及びe-BPSを対象自治体へ導入・定着させるものであり、新築建築物に対するNBC遵守促進を想定しています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 先行案件の報告書によれば、e-BPSでは、新築建物の建築許可申請から検査、完了証明までの手続きを管理している、となっております。本案件において、既存建物の管理をe-BPSに組込む計画はありますでしょうか。 | 現状では既存建物の管理にe-BPSを使用することは予定されておりません。ただし、将来的に組み込む可能性は残したいと考えています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | これまで、現地の組積造について、工学的な評価を行い補強を実施した事例はありますでしょうか。または、公示時に、現地の補強状況についての資料提供はありますでしょうか。 | ゴルカ地震後には多数の住宅耐震補強が実施された他、学校や病院の耐震補強プロジェクト、UNDP支援事業等で実施実績があることを現地調査で確認しております。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 既存建物の図面や計算書の入手は可能（容易）でしょうか。困難な場合、既存建物評価にあたり、現地調査による図面復元や材料強度試験が必要との理解で宜しいでしょうか。 | 多くの既存建物はNBC施行前に建設されており、施工図や設計図書が欠落し入手が難しい場合は実測調査、材料試験等が必要となると考えております。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 「既存組積造建築物」とありますが、主な対象と想定されている構造種別・材料があればご教示ください。（焼成れんが造、日干しれんが造、未加工石造、泥モルタルを用いた石造など） | 時点では特定されていないものの、ネパールで広く存在する泥モルタル石積造、レンガ組積造等を想定しています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 本案件では、国家建築基準（NBC）やその他の関連基準・法令そのものの改訂は業務内容に含まれないと理解してよいでしょうか。 | NBCそのものの改訂は業務として想定していません。一方で、耐震診断・補強ガイドラインや技術資料の作成・改訂は業務に含まれており、それらを踏まえて将来的にNBCへ反映するための提案をすることは想定されています。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 「既存組積造建築物の耐震診断・耐震補強技術の開発及び検証」について、実物大実験、振動台実験、載荷実験、材料試験等の実施を想定していますでしょうか。その場合、先行案件同様に試験施設や関連設備を使用すると理解して良いでしょうか。 | MBUSTに整備する反力壁・反力床、静的加力装置、各種計測機器等を活用した構造実験を想定しています。現時点で供与予定機材に大型振動台は含まれていないため、振動台実験の実施を前提としているわけではありません。実験内容については、プロジェクト開始後にさらに具体化する予定です。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | e-BPSサーバーの一括管理（クラウド化・標準化）は、本件開始時点で整備済であることを前提としているでしょうか。 | ADB事業が中央レベルでのデータ統合を行う予定です。本事業と並行してプロジェクトが実施される予定であり、本件開始時には整備済みではない見込みです。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 本件開始時点で、DUDBC内にe-BPSの担当者は配置されているのでしょうか。e-BPS導入支援は業務内容に含まれることは理解しましたが、その管理運営体制も業務に入りますか？ | 先行案件完了報告書では、e-BPSの持続的な運用に向けてDUDBCが中心となる管理・運営体制の確立が重要であると提言されています。一方で、現時点においてDUDBC内に専属のe-BPS担当者や専門部署が設置されているかについては確認できていません。本案件ではe-BPSの導入・運用支援に加え、DUDBC及び自治体における維持管理・運営体制の現状を確認し、必要に応じて体制強化に係る支援を行うことが想定されます。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | マスタートレーナー（100名）は本件開始時に全員揃っていると想定して良いでしょうか。 | 先行案件で多数の研修講師育成は実施されているものの、100名が確保済みとの確認はできていません。本案件開始後に能力評価や再研修を行うことが想定されます。 | 2026年11月16日 |

| 公示予定日 | 調達管理番号 | 案件名 | 担当部・課 | 質問内容 | 回答 | 回答日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 先行案件でインセンティブ制度に係る政策文書案が作成されたと理解しています。ネパール政府内の承認（閣議決定）は進んでいるのでしょうか？ | 承認手続き中の状況であり、最終承認は下りていないという認識です。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 本案件において、業務管理グループ（若手加点）の適用を想定されておりますでしょうか。 | 公示の内容をご確認ください。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 業務従事者の専門性に建築情報管理とあります。これは、従事者が現地で得た建築情報を、従事者が独自に整理・管理し、業務に利用する、との意味でしょうか。または、パイロット自治体の建築情報システムを利用（なければ導入）して、管理する、との意味でしょうか。 | BCM・e-BPS運用を支える建築行政情報の管理をメインに考えています。パイロット自治体におけるシステム導入も含まれます。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月18日 | 26a00916000000 | ネパール国国家建築基準遵守及び耐震にかかる普及プロジェクト | 社会基盤部都市・地域開発グループ | 建築情報管理について、具体的に想定されている情報（項目）があれば、ご教示頂けますでしょうか。例えば、建物規模、構造種別（RC、S、組積等）、構造形式（ラーメン、壁式等）、材料強度、建設年、確認申請の有無、エンジニアドかノンエンジニアドか、補強の有無、設計図書の有無などは該当しますでしょうか。 | 例示頂いた項目が該当すると考えております。 | 2026年11月16日 |
| 2026年11月25日 | 26a00888000000 | マダガスカル国無収水削減能力強化プロジェクト | 地球環境部水資源グループ | 業務管理グループの設置（若手加点）を想定していますしょうか。 | 適用予定です。 | 2026年10月23日 |
| 2026年12月9日 | 26a00798000000 | エチオピア国投資促進アドバイザー業務 | 経済開発部民間セクター開発グループ | 業務内容につきまして可能な範囲で詳細をお伺いいたしたく、個別面談をお願いできますと幸いです。 | ご質問ありがとうございます。プレ公示への個別面談のご依頼は9/18までのお申込みをもってお取扱いを終了致しております。質問回答制度をご利用くださいますようにお願いいたします。 | 2026年11月9日 |
| 2026年1月27日 | 26a00937000000 | ヨルダン国すべての子どものポジティブな学習環境促進プロジェクト（PLEAC）フェーズ２ | 人間開発部基礎教育グループ | 業務内容の【目的】に記載されている対象FDについて、FD名、または対象地域（北部・中部・南部等の地域区分や県名）及び対象FD数をご教示いただけますでしょうか。 | ヨルダンでは現在FDの統合が検討されています。本プロジェクトが中部で対象とする、教育人材開発省の予算で活動が実施される9FD（統合前のFD数）については、以下のとおりです。<br>Salt, Al-Jeiza, Al-Jama' a, Qasabet Amman, Marka, Dair Alla, Theban, Southern Shouna, Zarqa 1<br>また、本プロジェクトが北部、南部で対象とする合計13FD（統合前のFD数）については、プロジェクト開始後、FDの統合状況をふまえ、対象となるFDを決定予定です。 | 2026年10月30日 |
| 2026年1月27日 | 26a00937000000 | ヨルダン国すべての子どものポジティブな学習環境促進プロジェクト（PLEAC）フェーズ２ | 人間開発部基礎教育グループ | 本邦研修または第三国研修の実施は予定されていますでしょうか。 | 本邦研修か第三国研修のいずれかの実施を予定しております。 | 2026年10月30日 |